

敗戦50年と飛躍の年に

新年あけましておめでとうございます。

アメリカでは戦後50年を記念する記念切手に原爆のきのこ雲の写真を使い、「ヒロシマ・ナガサキの原爆投下が終戦を早めた」という説明までつける計画だと報道されました。日本の政府閣僚は「太平洋戦争は植民地の解放という面もあった」などという、歴史の事実をねじまげる発言をして平然としているというような、侵略戦争の反省についての風化が進んでいます。自民党に取り込まれた村山内閣は、国際貢献という美名のもとに自衛隊の海外派兵を積極的に進め、国連の常任理事国入りの運動を進めています。一部のマスコミは憲法改悪の世論を誘導しています。こうした風潮の中で敗戦50年の節目の年を迎えますが、私たちはこのような反動的な動きを許してはなりません。国内外の進歩的勢力と協力して平和のための行動を広げましょう。

代表理事 中島義夫

土浦平民懇が土浦革新懇と改称

土浦平民懇（平和と民主主義をめざす土浦懇談会）は、1月7日午後中央一丁目公民館において総会を開き、会の名称を「土浦革新懇」（平和・民主主義・革新統一をすすめる土浦懇談会）と改称するとともに、新しい世話人を加え事務局体制を強化しました。また、当面の活動方針として、母親連絡会、新婦人の会、民教研にも呼びかけて2月11日午後教育問題（いじめ問題）で講演会を開き父母と教師を交えて懇談を行うことを決めました。

百里基地新春のつどい開かれる

恒例の百里平和委員会主催の百里基地新春の集いが1月7日おこなわれました。午前十時からのジョギング大会に続いて餅つきも行われ、乾杯のあとお雑煮を食べました。参加者は約五十名、土浦からも8名が参加しました。

行事ごよみ

- 1月13日 土浦平和の会理事会（1中地区公民館）
- 1月15日 この子たちの夏事務局会議
- 1月28日 県平和委員会理事会
- 1月29日 この子たちの夏実行委員会（2中地区公民館）
- 2月11日 教育問題懇談会（市民会館予定）

